



ベトナム漫遊記

Cool Japan Expo株式会社

代表取締役 岡村寛三郎

Cool Japan Expo(株)では、外国人に日本語を教える日本語教師の資格を取るための日本語教師養成講座の運営や企業の外国人向け日本語教育の指導を行っています。講座の修了生は、国内外を問わず、様々な学校や企業に日本語教師として就職しますが、昨年、私はその1つとなるベトナム・ハノイの「ひので日本語センター」を訪れました。「ひので日本語センター」では多くの若者が日本語を勉強していて、そのほとんどが技能実習生として日本で働くことを希望しています。豊富な労働人口を抱えるベトナムは、目覚ましい経済発展をとげていますが、インフラも急に整備されたようです。街の電線は、納期に間に合わせるために急いで工事したのか、蜘蛛の巣状態の通信網が街角のあちこちで見受けられました。

今年に入ると、思うように海外渡航ができず、代わりにZOOM会議というのがあちこちで聞かれますが、弊社もその例にもれ

ず、「ひので日本語センター」とZOOM会議を行いました。ベトナム人に対する効果的な日本語教育について、話し合いはスムーズに進みましたが、ベトナムの通信事情はスムーズとはいかないようで、幾度も止まる画面に、あの時の電線は大丈夫かなと思いつながら、パソコンに向かい話しかけていました。

ちなみに、ベトナム人にとって、難しい日本語の発音は「や・ゆ・よ」「ざ・ず・ぞ」「じゃ・じゅ・じょ」の区別だそうです。日本の介護施設で働くベトナム人が「おかじゅ(おかず?)です」と言って「おかゆ」を出して、おじいさんに怒られた、というのは笑い話のようですが、日本で働くベトナム人にとっては真剣な問題です。「ゆりさん」は「じゅりさん」と呼ばれても、振り返ってあげてくださいね。

コロナの収束とともに、国際交流が早く復活することを祈っています。



ひので日本語センター



みんなの日本語



電線